

# KENKO TIP

<http://charapla.net/lab/astroview/>

2015年1月20日



## 2015年を天体の動きから読んでみる

占術家 小池雅章

編集 渡辺ユキノ

私たちの脳も心も身体も実に神秘的な存在で、それはまるで「宇宙」のようです。それゆえ人の心は経済にも太陽をはじめとする惑星のエネルギーにも影響を受けることが多々あります。例えば、月の満ち欠けと出産、あるいは事故、太陽の黒点と世界の経済活動の間に関係があることはよく知られています。相場の世界では天体の影響を読むことも珍しくありませんね。星が天空のどの位置にあるか、各々に違う星の動きのスピード、これらで天空に形成される星同士の作る“形（アスペクト）”が私たちの心に影響を及ぼしていると考え、そこから世の中の動きを読み解くというものです。

2015年をみると、天王星と冥王星の90度という見過ごせないアスペクト（配置上図）があります。天王星とは公転周期約84年の惑星で、今から約84年前1930年にも現在のように牡羊座に位置しておりました。この時冥王星（公転周期約248年）は蟹座にあり、やはり天王星と90度の関係にありました。この1930年頃、世界では何があったのでしょうか？そう、あの世界大恐慌です。第一次世界大戦の余波の残る中、ナチスの台頭などによる、第二

次世界大戦の揺籃期でした。もう一つは冥王星の発見とプルトニウムの発見という、それからの世界のエネルギーの大転換をもたらす発見もありました。

現在冥王星は山羊座にあります（上図）。この冥王星が山羊座に入ったのは2008年リーマンショックです。冥王星は「破壊と再生」を暗示する星。山羊座とは社会体制を表します。つまり2008年から2023年までの冥王星山羊座期間は世界の体制が変わろうとしている時なのです。

これに対して84年前と同じように天王星が90度で変化を一層促進させてゆきます。天王星が牡羊座に入ったのは2011年で2019年まで滞在します。つまり2011～2019年までは1930年当時と同じ様なことが起こる可能性があるわけです。アラブの春から東アジアの変化、反アメリカ主義の台頭、年明けのパリの事件など変化を挙げればいとまは無く、大きく世界経済地図も上書きされようとしています。

その天王星と冥王星の90度は2015年初頭がピークとなります。8月には困難な角度を形成して、多くの経済的な困難が発生しやすくなるかもしれません。この前後

は見直し、制約が強くなったりして、一時的に混乱もあるかもしれませんが、無理をせず、チームの結束を強め、じっくりと乗り切っていくいきましょう。それ以降は素晴らしい配置になっていきます。混乱の中からの再生とも言うべき希望に満ちたチャレンジングな展開がはじまっていきます。偉業の遂行と言う強い暗示もあります。苦勞の末に報われ、新たな世界観の創出が成されたり、イデオロギー以上の普遍性を持った考え方が台頭してきます。新たなエネルギーへの移行、技術の発達が各分野でなされてゆくでしょう。1930年の核エネルギーの発見以上に、時代の転換となるエネルギー維新の年と行って行く可能性もあります。また、物事の本質的な価値にも重きが置かれるようになります。地道の努力の末に積み重ねてきた信頼、経験、技術への真摯な姿勢が評価される時代になっていくでしょう。小手先の対策ではなく従来からの課題から目を背けず、本腰を入れて、心を集中させて取り組む時期でしょう。

まさに混乱からの再生の一步を踏み出すのが2015年ですが、必ずそれは未来に答えがでます。希望を持って、今この一瞬を大事に丁寧に生きてまいりましょう。